

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月12日更新

事務事業名		決算事務			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	1	自治の健幸		所属部	総務部	課長名	上村 祐一郎
	施策	3	持続可能な財政運営		所属課	財政課	担当者名	白濱 裕
	業務分野	13	財政事務の適正な執行		所属班	財政班	(内線)	1233
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 5	事業連番 11111	法令根拠	地方自治法第233条	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	地方自治法第233条に基づき実施している事務であり、毎会計年度の決算書および、関係書類を取りまとめ、審査に付すため監査委員へ提出し、併せて、決算認定の資料作成を行っている。 本市においては、高齢化や社会情勢の変化に伴う社会保障費等の増加や、公共施設更新に伴う普通建設事業費の増加が予想され、財政の硬直化が懸念されている。 必要な財源を確保するため、歳入が不足する場合は基金を取り崩すほか、普通建設事業等においては、合併特例債や後年度の元利償還金に交付税措置のある地方債を借り入れながら、実質収支が不足しないように財源を確保している。
【業務の流れ】	一般会計、特別会計、公営企業会計の決算書及び、関係書類の内容を精査のうえ、決算審査に付すために監査委員へ提出する。 決算認定議会の説明資料等も併せて作成する。
【主な予算費目】	

(1)事務事業の振り返り・計画
 ①6年度事務事業の成果・実績
 一般会計、特別会計、公営企業会計の決算書、関係書類の内容を精査し決算審査に付すため監査委員へ提出した。決算認定議会の説明資料等も併せて作成した。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容) ③予算の主な増減の理由
 一般会計、特別会計、公営企業会計の決算書、関係書類の内容を精査し決算審査に付すため監査委員へ提出する。決算認定議会の説明資料等も併せて作成する。

成果指標	(単位)	データ取得方法
ア 実質収支額	千円	
イ		
ウ		

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	千円	1,294,957	1,424,676	250,000	1,140,738	800,000	800,000	800,000	800,000
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円								
(A) 事業費計		千円	0	0	0	0	0	0	0	0

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)
 決算監査を得て、9月市議会定例会において決算認定を受けた。

(4)今後の事業の方向性
 廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)